

資料編 資料 指導可能教科内容「確認のための一覧表の例

ほっとルーム を利用する生徒についてのお願い

現在、教室復帰を目指しほっとルームで学習する生徒が常時一名（二名の場合も多くなってきました）います。その生徒に関しては教職員全体で指導をして頂けることをお願いします。指導のひとつの方向としては、生徒の実態に合わせ、生徒の教室復帰を早めるために学力の向上が不可欠であると考えて提案するものです。もう一方ではカウンセリングが必要であることも十分考えられますので、それぞれの分掌を考慮しながら、効率よく、しかも多くの先生方に関わりを持っていただけるとありがたいと思います。ご確認の上、ご協力をお願いいたします。

尚、今後の指導のあり方については検討を重ねよりよい内容にしていきたいと思っておりますので、気づいたことはお知らせ下さい。

生徒の登校に合わせて、教科指導を行う。

その内容は、担当学年の教科担当が中心となり生徒の実態を見て設定する。

教科	担当	指導内容	備考
国語	金古 福島	教科書の音読 小学校の漢字練習 短い文作り、話し方・聴き方	教科書 小6のワーク 書き方帳
社会	山口 増野 白石	都道府県調べ 人物調べ・道具づくり 地理・歴史のワーク	地図帳 地理ワーク 歴史ワーク
数学	新井 松岡	基本的な四則の計算 学習内容の復習（小学校から）	小学生の計算ドリル 教科書
理科	関 清水	算数基礎 中一理科の内容	
英語	飯嶋 小林	アルファベット 中学校1年生の教科書の復習	教科書（1年） 4線プリント サマワーク
音楽	飯塚	リトミックあるいは音楽に合わせた運動 鑑賞・歌唱・器楽 カメの世話・楽器の片づけ	特になし
美術	島田	生物や小物のスケッチ 版画・水彩画 美術作品の鑑賞	
体育	滝川	基礎体力の向上（歩く・走るなどから） （投げる・打つ・つかむ・蹴るなどから）	

時 間 表

	月	火	水	木	金
					
1					
2	国語 福島	国語 池田（白石）	数学 松岡	数学 関	社会 増野
3	数学 滝川	体育 池田（滝川）	英語 玉木	国語 増野	英語 飯塚
4	社会 山口	数学/ 体育 島田	英語 飯塚	理科/ 美術 関	社会/ 体育 白石
	給食	給食			給食
5	体育 滝川	理科 清水	美術 島田	家庭科 金古	体育 滝川
6	英語	社会	英語	技術	国語
	掃除			掃除	掃除

様々な教科の勉強で力を伸ばしましょう。
各教科で準備するものを担当の先生に確認して下さい

「ほっとルーム」担当者と対象生徒の話し合いによって個人別の時間表を作成した例である。「ほっとルーム」掲示用と自宅用を用意し、「ほっとルーム」掲示用は表面をビニールパウチで覆い、「ほっとルーム」に掲示した。

資料 『ほっとルームノート』参考例

名前 _____

(月 日 ~ 月 日)

		月(日)	火(日)	水(日)	木(日)	金(日)
H R						
1	教科・担当			先生		
	内容		学	8:50頃に 登校した		
2	教科・担当	先生	校	先生	先生	
	内容	10:04頃 登校した。 先生とお話し した。	を 休	いろいろ考えた	10:02頃登校 先生と~ 君とお話	
3	教科・担当	先生	み	先生	先生	
	内容	算数(数学)の ドリルをした	ま し	~ちゃんと一緒 にバレーボール をした	校庭を走った	
4	教科・担当	先生	た	先生	先生	
	内容	本当は社会をや るはずだったけ ど、お話しした。		ますますいろい ろ考えた	友達の応援を した	
給 食		さん、 さんと食べた		~ちゃん~ちゃ んと給食を食べ た	~さん~さ んと給食を食 べた	
5	教科・担当	先生・ 先生		先生	先生	
	内容	英語補充学習ド リル		美術で絵本作り をした	漢字プリント間 違い探し	
6	教科・担当			自習		
	内容			英語のプリントを した		
H R				4:50頃下校		
備 考						休み (休日)

今週頑張れたこと

チェックポイント		月	火	水	木	金
生活のリズム		/	/	/	/	/
1	食事の前に手を洗う					
2	制服のほこりをはらう					
3	入浴をし、体を清潔にする					
4						
コミュニケーション						
5	「おはよう」「さようなら」のあいさつができる					
6	友だちと笑顔で話せる					
7	先生の質問にはきはき答える					
手伝いや仕事						
8	ホワイトボードの日付を書く					
9	ほっとルームの掃除をする					
10	ほっとルームノートを書く					
がんばること						
11	()					

対象生徒の実態に合わせ、10項目程度のチェックポイントを作成することが望ましいと考える。また、対象生徒の興味関心に応じた「がんばること」の項目は、達成感につながると考えられる。ここには、「養護教諭の仕事を手伝う」や「一時間は教室で勉強する」「編み物をする」等の項目が書かれた。

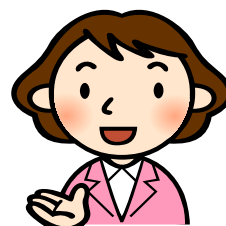
資料「連絡カード」例

<input type="text"/>	先生へ
<input type="text"/>	さんについて
_____ 月	_____ 日の様子

来室の様子
面談内容
対象生徒の訴え
先生方に連絡したいこと

等 記入する。

心の相談員と担任等がすれ違ってしまい、情報交換ができないときにこのカードを使って補う。結果的には、ここに書かれた内容をもとに生徒理解を深めた。
このカードはSC用も作成した。



心の相談員より

資料 「ソーシャルスキルトレーニング」参考例

2年総合的な学習

電話のかけ方

ロールプレイをしましょう

2年 組

初めに4人程度のグループに分かれます。

次に生徒役と会社の人を決めます。

他の人は観察者になります。

生徒役の方は、相手の会社に職場体験に出かけたいと思っています。

電話でのやりとりをしてください。

終了後、観察者はアドバイスをしてください。

日時 9月16, 17日 9:00~16:00

体験希望者は1人~6人

- 場面 1
- ・生徒がケーキ屋さんに申し込む
 - ・会社の人を受け入れてくれる。
- 場面 2
- ・生徒がうどん屋さんに申し込む
 - ・社長がいない
- 場面 3
- ・生徒の代表が堀越製作所に申し込む
 - ・6人の生徒が希望している。
 - ・一日だけ受け入れてもらえる。
- 場面 4
- ・生徒の代表が物産センターに申し込む
 - ・忙しいという理由で断られる。
- 場面 5
- ・グループで様々な場面を設定して行う。

気付いたこと

資料 校内研修」

1) はじめに

2) 家族病理 (家族ががんじがらめになる) について

ダブルバインド = 「二重拘束」

- ・ 気の弱い夫にいらだった妻が「あなたはこれからもっと自発的に自分からしなければいけない」と怒ったように言ったとする。ご主人はどうするでしょう？
- ・ これがダブルバインドという家族病理のひとつ、G・ベイトソン (1956) が発表した。

・ パプロフの条件反射

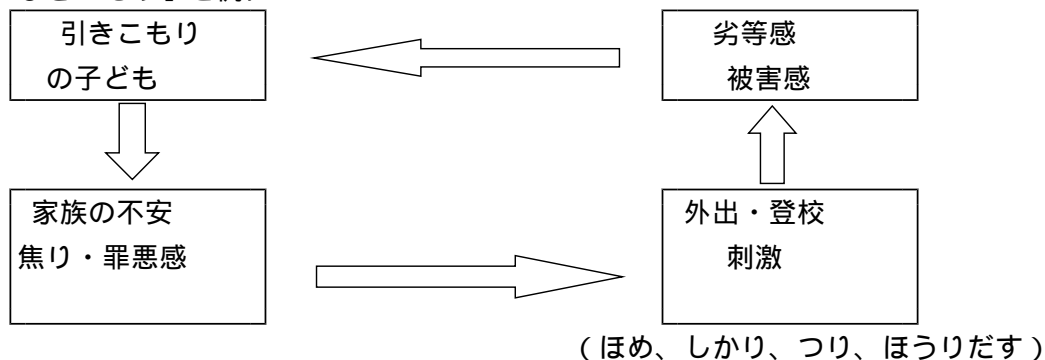
親が子どもにしていないか？ (例えば) こんな場合どうだろう。お母さんと一緒に洋服を買いに行った。お母さんは機嫌良く服を2着買ってくれた。子どもが家に帰って1着を着ていると「私の選んだもう一枚は嫌いなんだね」と母親に言われた時。子どもは困る。

子どもに逃げ場を無くし、動けなくするメッセージのこと。これに対し、子どもは親からのメッセージを捏造するか そのまま受け入れるか 引きこもるしかないと言われている。

以前、このような親からのメッセージ、特に母親からのコミュニケーションが自閉症や統合失調症の原因とされた。今は神経症、発達障害、精神病の原因とは言われないが、再発や悪化の引き金になっていると言われている。

3) 親子関係の悪循環

「引きこもり」を例に

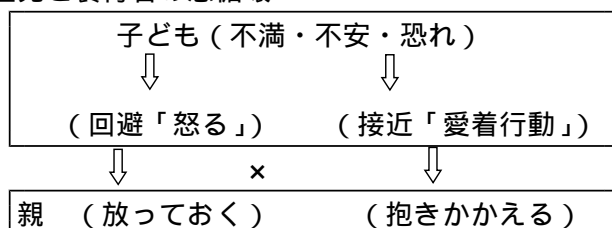


4) 空回り

「褒めず、叱らず、釣らず、見放さず」

5) ではどうするか？私話を聞いて下さい。そしてご意見を『する薬』

6) 自閉症児と養育者の悪循環



資料 「PTA研修」

吉井西中学校 PTA 成人教育研修会

親子問題解決法について

1) はじめに

2) 私の仕事

子の問題、親の問題、学校の問題

例えば引きこもりについて

身近な話・・・「勉強しない」の中でも同じことがおこる。

3) 人が変わる

・支える

・鍛えあう イ.ほめず

ロ.叱らず

ハ.釣らず

ニ.見放さず

4) 皆で知恵を出して(勇気のある人からの相談)

問題解決法 (1つのやり方)

さあ困った、どうしよう?

[7つのステップ]

ステップ1 立ち止まって考える

ステップ2 何が問題なのかはっきりさせる

ステップ3 問題解決するために、いくつかの解決策を考える

ステップ4 それぞれの解決策について、実行できるか考える
その解決策の長所、短所は何かを考えて評価する

ステップ5 どの解決策にするかを決めて、実行の計画を立ててみる

ステップ6 その解決策を実行するために必要な協力を考える

ステップ7 実行する日にちと時間を決めて、実行

もしうまく行かなくても、がっかりしないでステップ1に戻ってやり直してみよう

ロールプレイ

参加した保護者の感想の例

親子問題解決法について、スクールカウンセラーの先生には、具体的に筋道をたてて講演していただき、大変勉強になりました。

親子関係において問題が起きたときにその対処法は、親として一生懸命勉強しなければと痛感しました。解決法について相談しますと今までは"こうすべきだ。この答えが正解..."等というように先生からの指示的な結論が出ますが、今日は皆で話し合い、考え合い相談者が解決策を見つけ出すという内容だったので、すごく納得し安心でき大変よかったです。